

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
被服実習 基礎縫い（玉結び、並縫い、玉留め）	高	家庭 1年Iグループ （家庭）	須波美奈子

<ねらい>

針と糸を使って手縫いができるようになる
 便利な用具の使い方を知り、安全に扱う
 細かい作業に根気よく取り組む

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

手順①針に糸を通す

- ・作業効率のよい糸の長さ
- ・糸切りばさみの使い方
- ・糸通しの使い方
- ・一本取り、二本取りの違い

②玉結びをする

- ・糸の巻き方とよりのあわせ方
- ・人差し指、親指、中指の使い方

③布を縫い合わせる

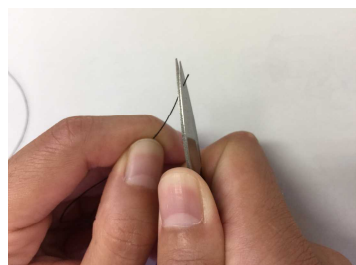
- ・布の向きと持ち方
- ・針の進行方向
- ・糸こき

④玉留めをする

- ・針の置き方と糸の巻き方
- ・押さえの親指の使い方と糸の引き抜き方



#30細糸を80cm2本取り



糸の先を持ち、斜めに切る

工夫点*糸の長さは自分の腕の長さや机の幅を目安にする

*玉結びは一方方向によりをかける

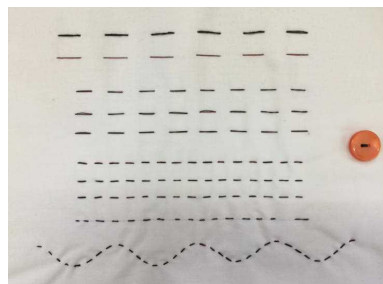
*布の裏で針を抜かない



銀色厚紙で作った針の模型



毛糸用綴じ針



基礎縫い布（実物大見本）

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

用具の持ち方や使い方を少しアドバイスするだけで、コツをつかみ作業を進めていくことができた。大型の模型を使用して手本を示すことで集中して説明を聞いていた。一本取りは糸を引き抜く時に針から抜けてしまいがちなので、最初は二本取りで取り組んだ方がよい。作品の完成時間に差が出るので、基礎縫いが終わった生徒は二つ穴のボタン付けやミサンガの制作に取り組んだ。授業の前と後で針の数を数え、教室に落とすし忘れがないか確認した。

<その他（材料、費用、購入先等）> 37円/一人当たり